

1月17日

迷える羊を捜す良い羊飼

ルカ15章1～7節

15:1 さて、取税人、罪人たちがみな、  
イエスの話を聞こうとして、  
みもとに近寄って来た。

15:2 すると、パリサイ人、  
律法学者たちは、つぶやいてこう言った。  
「この人は、罪人たちを受け入れて、  
食事までいっしょにする。」

15:3 そこでイエスは、彼らにこのような  
たとえを話された。

15:4 「あなたがたのうちに羊を百匹持っている人がいて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を野原に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。

15:5 見つけたら、大喜びでその羊をかついで、

15:6 帰って来て、友だちや近所の人たちを呼び集め、『いなくなった羊を見つけましたから、いっしょに喜んでください』と言うでしょう。

15:7 あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。

元旦礼拝では詩篇23篇から  
「主は私の羊飼い。  
私は、乏しいことはありません。」

3日の礼拝では  
ヨハネ10章から  
「わたしは良い牧者。  
よい牧者は羊のためにいのちを捨てます」  
いのちを捨てて羊を守る  
イエス様を学びました。

先週の17日の動画での説教は  
ヨハネ1:29

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」  
私たちの身代わりとなって  
いけにえの子羊となってくださった  
イエス様を学びました。

もう一度詩篇23篇の前半を読みましょう。

詩篇23:1-3

【主】は私の羊飼いです。

私は、乏しいことはありません。

主は私を緑の牧場に伏させ、  
いこいの水のほとりに伴われます。

主は私のたましいを生き返らせ、

御名のために、

私を義の道に導かれます。

今日はルカ15章から  
迷子になった羊を捜す  
羊飼いの愛を学びましょう。

15:4 「あなたがたのうちに羊を百匹持っている人がいて、そのうちの一匹をなくしたら、その人は九十九匹を野原に残して、いなくなった一匹を見つけるまで捜し歩かないでしょうか。

15:5 見つけたら、大喜びでその羊をかついで、

15:6 帰って来て、友だちや近所の人たちを呼び集め、『いなくなった羊を見つけましたから、いっしょに喜んでください』と言うでしょう。



迷子の一匹の羊を見つけるまで探す  
羊飼いの物語。

1、迷う羊、迷う人。

羊はなぜ迷うのか。

下を向いている。

草ばかり見ている。

羊飼いを見ていない。

羊は視力は悪い。嗅覚も悪い。

草を与える羊飼いを見ないで  
草ばかりを見て追いかけているうちに  
羊飼いから離れて迷子になる。

野原、草の一杯あるところ。  
環境はとても良い。  
草ばかりに気を取られて  
飼い主を見ない、  
飼い主の角笛を聞いていない。  
草を追っているうちに  
羊飼いと離れてしまって  
草の無い所、危険な所、に行き、  
迷子になってしまう

## 2. 迷った結果

危険なところ、仲間のいないところ、  
孤独なところ、熊、狼、ライオンの恐怖。

暗闇、寒さ、水、食べ物の欠乏。

迷子になって危険にさらされてしまう。

## ルカ19:10

人の子は、失われた人を捜して救うために  
来たのです。

イエス様がザアカイに語られた言葉。

失われた、いなくなる、同じ言葉。

これは滅ぼす、殺すという言葉にもなっている。

迷っている羊は滅びつつある、

失われた人は死につつある。

マタイ、ザアカイ、取税人お金の猛者。

お金を追いかけて迷子になり、

失われ、滅びつつあった。

マタイはレビ人、ザアカイもレビ人かも

名前は清

二人とも聖なる人生から外れていた。

失われていた。

それだけでなく滅びつつあった、

死につつあった。

### 3、羊を捜す羊飼い。

いなくなった羊を捜す羊飼い。

失われた人生を歩んでいるザアカイに  
目をやり、声をかけ、ザアカイの家に、  
ザアカイに人生に、心に入ろうとされる  
イエスさま。

一匹の迷った羊を捜す羊飼いです。

小さな弱い者、落ちこぼれ、  
人から疎外されている人、脱落者も  
イエス様は軽んじたり無視されません。

イエス様にとっては大切な存在。

その証しとして

羊に目にとめる、心を痛める、出かける、  
時間を取る、エネルギーを使う。  
見つかるまであきらめないで捜す。



羊は草、食べ物ばかりを追い求めて  
飼い主から離れ、迷子になり、  
自分の居場所を失ってしまった。  
ザアカイも金銭ばかりを追い求めて  
金銭の奴隷になり、  
迷った者、失われた者、  
滅びつつある者になってしまいました。

現代の人類は何を  
追い求めているのでしょうか。

目先の富や快樂を求めて  
迷子になっているのでしょうか。

そんな人を救い出すために野を超え、  
谷を越え、夜になっても必死で  
捜しているイエス様。

一人の人を救いに導くために  
地の果てにまで宣教師を送られるイエス様。

## 4、見出される羊

見つかるまで捜す羊飼い。

見つけるまであきらめない。

見つかったら、

大喜びで羊を肩に担いで家に帰ってくる。

羊を叱らない、罰を与えない、  
お仕置きをしない、寛容な心で  
羊を赦す羊飼いいイエス様。

## 5、癒される羊

羊を肩の上に乗せて家まで帰る羊飼いです。

イエス様のぬくもり、愛、赦しを感じる。

見つかるまで長時間、

羊は寒さ、飢え、恐怖、孤独の中にいた。

それをいやすように羊飼いは

重い羊を肩の上にかついでくださった。

イエス様はこのように傷ついた

羊をいやすように、

私たちをいやすしてくださる。

15:5 見つけたら、大喜びでその羊をかついで、  
15:6 帰って来て、友だちや近所の人たちを呼び  
集め、『いなくなった羊を見つけましたから、いっしょ  
に喜んでください』と言うでしょう。

### 新改訳第三版

15:5 見つけたら、喜んで羊を肩に担ぎ、  
15:6 家に戻って、友だちや近所の人たちを  
呼び集め、『一緒に喜んでください。いなくなった羊  
を見つけましたから、』と言うでしょう。

### 新改訳2017

家に帰ってくる。家に連れて行く羊飼い。

家畜小屋に行かないで

家に連れて来て喜ぶ。

羊の小屋に連れて行ったら、この迷子の羊は他の  
羊からいじめられるかもしれない。

家畜小屋でなく、羊飼いの家にまで担いでいく。

一人の喜びでなく、友人、近所の人を集めて  
喜ぶ。パーティーをしたでしょうか。

## 6. 天にある多きな喜び

15:7 あなたがたに言いますが、それと同じように、ひとりの罪人が悔い改めるなら、悔い改める必要のない九十九人の正しい人にまさる喜びが天にあるのです。

家に連れて行く、  
家で近所の人、友人と一緒に喜ぶ。  
家は神の家族、教会の交わり。  
パーティーをしたとは書いていませんが  
共に喜びの食事をしたと思われれます。  
時間の共有、口を開き、心を開いて  
共に食事をすることも  
癒しにつながっていったでしょう。



神の家、神の家族の交わり。  
一緒に集まる、時間の共有、  
いのちのパン、み言葉の糧を共にいただく。  
み言葉の恵みを共有していく。  
み言葉から神様の赦し、受け入れ、  
みことばをかみしめて癒しを味わいましょう。

ガリラヤ湖畔のペテロ。

イエス様が十字架にかかれる時、三度も  
イエス様を否定する失敗をした。この時ペテロも迷  
える子羊になってしまいました。

イエス様から離れてガリラヤ湖で  
漁をしているペテロに

イエス様は声を掛けられ、

不思議な大漁を経験させ、

岸辺でパンを割き、魚も一緒に食べられて

わたしの羊を飼いなさい、と新たに使命を

お与えになりました。

羊飼いいイエス様に守られ、癒され、  
私たちも迷った羊を連れ戻す  
羊飼いいイエス様のお手伝いを  
させていただきましょう。

祈り

私たちの羊飼いであられるイエス様、あなた様の御  
手の中で守られていることを感謝します。  
かつては私たちは自己中心の道を歩んだために迷  
子の子羊でした。行き先が分からず、自分がどこに  
いるのか、どこに向かっているのかもわからない時を  
過ごしていました。孤独、不安、恐れの中にいる私  
たちを神様の愛で救って下さったことを感謝します。  
主のもとに連れ戻してくださり、喜びの家に連れ戻  
してくださり感謝します。いつまでも主の家で、感謝  
のささげものをささげるものとしてください。アーメン。